

地域協働学校だより

Vol.8

平成30年3月19日

新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

「地域協働学校運営協議会」からのご報告です

3月8日、国際交流の授業が6年生を対象に行われました。見学させて頂きましたので、ご紹介いたします。
お招きしたのは、タンザニア連合共和国大使館のジョン・F・カンボナ全権公使、広報担当官の白井さんです。

タンザニア

- ・東アフリカに位置し、日本の約2.5倍の面積、アフリカで1番高い山キリマンジャロと1番深い湖カンガニール湖があります。
- ・1964年の独立以降、内戦・紛争は一度もなく平和で安定しています。
- ・人口約5500万人、2050年には1億4千万人程になると言われています。
- ・あまり知られていませんが、多くの難民を受け入れています。その数は30万人以上と言われています。決して豊かな国ではありませんが、アフリカの安定のためにしてきました。助け合うという精神がとても強く、日本も見習うべき所があると思います。



スワヒリ語

- ・120程の民族がいて、言葉も文化も違いますが、初代ニエレレ大統領がスワヒリ語の普及に力を入れたので、どの民族もスワヒリ語が話せます。コミュニケーションがとれる、話し合いで問題が解決できる事が国の安定と誇りを保つ事に貢献したと言われています。
- ・スワヒリ語の母音は日本語と同じ5つなので、日本人にとって発音しやすく、意味は違いますが同じ発音をする言葉が多数存在します。(コンドウは羊、マジは水、サバは7など)

タンザニアと日本の関係

日本とは良い関係を築いてきました。日本は道路の建設、教育等、様々な支援・協力をしてきました。貿易関係も良好です。将来は寄贈や援助の対象国から貿易の相手のような関係になれば良いと思います。

質疑応答より

- ・ほとんどの子供が小学校に行けますか？ 小学校は義務教育なので行けます。授業はスワヒリ語です。
- ・中等学校へはどれくらい行けますか？ 7割くらいです。ちなみに中等学校からは授業がすべて英語です。
- ・どのくらい日本人が住んでいますか？ 200人位です。ほとんどが青年海外協力隊です。

ジョン・F・カンボナ全権公使より

「皆さんはとても幸せです。技術によって色々な事を学べます。インターネットで他の国々の事を簡単に調べることができ、世界はどんどん小さくなり、国同士の交流も活発になっていくと思います。国について調べるという事はその国を知らないという不安を取り除いてくれます。今日は素晴らしい質問を沢山いただきました。事前学習をしてきてくれた証だと思います。短い時間でしたが本当にお招きいただきありがとうございました。」



今回の交流では、パソコン操作のお手伝いをしたり、スワヒリ語の会話に挑戦したり、民族布のカンガを着てファッションショーを楽しんだり、お礼の歌を歌ったりと、盛り沢山の交流でした。これからの国際社会に向けて貴重な体験が出来ましたね。

タンザニア大使館の皆様、ありがとうございました！